

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年5月15日

東

上場会社名 コンバム株式会社 上場取引所
 コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治 (TEL) 03(3759)1491
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	503	△23.5	89	△48.2	89	△48.9	59	△53.0
2022年12月期第1四半期	658	7.8	172	62.1	174	51.3	126	60.1

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 74百万円(△46.3%) 2022年12月期第1四半期 138百万円(44.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	38.06	—
2022年12月期第1四半期	81.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	5,892	5,547	93.4
2022年12月期	5,959	5,527	92.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 5,502百万円 2022年12月期 5,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,173	△6.5	253	△21.7	274	△20.8	190	△23.3	122.29
通期	2,387	0.3	525	△14.4	560	△13.6	391	△14.5	251.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期1Q	1,657,000株	2022年12月期	1,657,000株
2023年12月期1Q	100,448株	2022年12月期	100,448株
2023年12月期1Q	1,556,552株	2022年12月期1Q	1,556,584株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより経済活動が徐々に正常化に向かっている一方、物価上昇や為替の急激な変動の影響は大きく、依然として先行きが不透明な中で推移いたしました。また、世界的な半導体部品等については用途別に過剰・不足が混在する状況へ移行しており、原材料価格やエネルギー価格も高騰するなど、先行きへの警戒感を強めております。

このような環境下、当社グループは、半導体製造装置関連での需要は、国内、アジアを中心に低調に推移いたしました。食品機械業界、自動車関連業界、各種自動機関連においても、部材の高騰や半導体部品供給不足の影響が長引き、生産設備自動化の需要が低迷しております。

また、開発面においては、ロボット需要を見据えた電動化の推進と新素材及び新形状の吸着パッドの開発を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は503,572千円（前年同期比76.5%）、連結経常利益は89,358千円（前年同期比51.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,247千円（前年同期比47.0%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

前年好調でありました半導体製造装置及びメンテナンスの需要減少が顕著となり、真空機器及吸着パッドの受注が減少しました。生産設備の省人化、自動化の流れでのロボットハンド関連製品の需要は旺盛であり、新たな顧客の取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は409,597千円（前年同期比88.1%）となりました。営業利益については76,360千円（前年同期比51.2%）となりました。

(韓国)

昨年前半までの半導体関連の特需が収束した事から、ソーラーパネル、カメラレンズおよび二次電池関連を中心に営業活動を展開し、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。この結果、売上高は99,516千円（前年同期比85.5%）となりました。営業利益については10,389千円（前年同期比65.4%）となりました。

(中国)

ゼロコロナ政策の解除以降、内需主導での経済は回復に至らず、米国との通商問題の影響から輸出産業は低調に推移しました。この結果、売上高は16,574千円（前年同期比36.8%）となりました。営業損失については1,354千円（前年同期は営業利益3,310千円）となりました。

(その他)

タイでは、タイ国及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行い、売上高は12,767千円（前年同期比92.4%）となりました。営業利益については3,280千円（前年同期は営業損失776千円）となりました。また、米国子会社においては既存販売店への営業活動を行いました。売上高は6,931千円（前年同期比38.3%）となりました。営業利益については592千円（前年同期比12.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ73,324千円減少し、3,294,287千円となりました。これは主として、電子記録債権が79,526千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6,033千円増加し、2,598,268千円となりました。これは主として、投資その他の資産が14,054千円増加したのに対し、無形固定資産が7,150千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ67,290千円減少し、5,892,555千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ89,134千円減少し、215,366千円となりました。これは、賞与引当金が18,648千円増加したのに対し、未払法人税等が56,382千円、その他流動負債が51,370千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,872千円増加し、130,119千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ87,262千円減少し、345,486千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ19,971千円増加し、5,547,069千円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が13,809千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は93.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績及び需要動向を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期の第2四半期累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)及び通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,361,265	2,390,395
受取手形	37,046	37,653
電子記録債権	295,094	215,568
売掛金	225,191	215,812
製品	206,918	194,476
仕掛品	119,414	115,555
原材料	95,007	103,138
その他	27,922	22,130
貸倒引当金	△249	△444
流動資産合計	3,367,611	3,294,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,784,852	1,779,344
減価償却累計額	△884,786	△894,701
建物及び構築物（純額）	900,065	884,642
機械装置及び運搬具	1,150,468	1,182,239
減価償却累計額	△822,370	△836,436
機械装置及び運搬具（純額）	328,098	345,803
土地	703,230	702,914
その他	776,917	780,089
減価償却累計額	△693,066	△699,076
その他（純額）	83,850	81,013
有形固定資産合計	2,015,244	2,014,373
無形固定資産	123,721	116,570
投資その他の資産		
投資有価証券	351,083	372,719
繰延税金資産	17,697	10,450
その他	84,488	84,153
投資その他の資産合計	453,269	467,324
固定資産合計	2,592,235	2,598,268
資産合計	5,959,846	5,892,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,337	40,186
未払法人税等	91,963	35,580
賞与引当金	22,900	41,548
役員賞与引当金	8,937	2,058
その他	147,363	95,992
流動負債合計	304,500	215,366
固定負債		
退職給付に係る負債	87,210	91,026
繰延税金負債	27,921	25,877
その他	13,116	13,215
固定負債合計	128,247	130,119
負債合計	432,748	345,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	3,686,423	3,691,191
自己株式	△119,786	△119,786
株主資本合計	5,327,722	5,332,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,891	106,701
為替換算調整勘定	66,414	63,377
その他の包括利益累計額合計	159,306	170,079
非支配株主持分	40,069	44,500
純資産合計	5,527,097	5,547,069
負債純資産合計	5,959,846	5,892,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	658,342	503,572
売上原価	310,174	243,364
売上総利益	348,168	260,208
販売費及び一般管理費	175,875	170,939
営業利益	172,293	89,268
営業外収益		
受取利息	1,107	84
為替差益	5,430	43
受取地代家賃	2,993	2,859
その他	1,532	620
営業外収益合計	11,064	3,607
営業外費用		
売上割引	42	33
減価償却費	6,460	2,347
その他	1,981	1,135
営業外費用合計	8,484	3,517
経常利益	174,872	89,358
特別利益		
固定資産売却益	-	1,467
特別利益合計	-	1,467
特別損失		
固定資産除却損	-	739
特別損失合計	-	739
税金等調整前四半期純利益	174,872	90,087
法人税、住民税及び事業税	48,373	31,139
法人税等調整額	△325	△844
法人税等合計	48,047	30,294
四半期純利益	126,824	59,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	721	545
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,103	59,247

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	126,824	59,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,051	13,809
為替換算調整勘定	26,978	848
その他の包括利益合計	11,927	14,658
四半期包括利益	138,752	74,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,637	70,020
非支配株主に係る四半期包括利益	3,114	4,430

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	464,992	116,340	45,079	626,412	31,930	658,342
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	464,992	116,340	45,079	626,412	31,930	658,342
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,344	20,941	—	66,285	—	66,285
計	510,337	137,281	45,079	692,697	31,930	724,628
セグメント利益	149,074	15,889	3,310	168,274	4,018	172,293

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	168,274
「その他」の区分の利益	4,018
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	172,293

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	375,829	91,469	16,574	483,878	19,698	503,572
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	375,829	91,469	16,574	483,873	19,698	503,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,767	8,047	—	41,814	—	41,814
計	409,597	99,516	16,574	525,688	19,698	545,387
セグメント利益又は損失(△)	76,360	10,389	△1,354	85,395	3,872	89,268

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	85,395
「その他」の区分の利益	3,872
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	89,268